

市民活動団体紹介

様々な分野で活動している
団体を紹介します！

札幌総合コミュニティラジオ放送 (まちづくりの推進を図る活動)

開局5周年を迎えた、通称SSK radio.comは、現役大学生が局長！パソコンやスマートフォンで放送を聞くことができます。札幌で活動中のインテリズミュージシャンを紹介する番組の制作やライブイベントの開催など、札幌の芸術・文化を盛り上げようと、日々活動中。また、地域のお祭り会場からの放送や、各種講演会などのイベント実施といった地域密着型の活動も。今年からは中継車も登場し、今まで以上にネットワーク軽く、札幌の「今」を伝えていきます！
【問い合わせ】http://www.sskradio.com



PR メンバー大募集！自分の番組をもちたい人、放送機材を操作したい人などなど、ちょっとした興味をもったら、今すぐアクセス！

札幌川柳社・川柳「時の風」 (学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動)

川柳は、人を詠む文芸です。詠み手それぞれの感性を生かし、人の心や社会のありように斬り込む面白さがあります。また、年齢・男女の別なく下の名前で呼び合い、自由闊達に感想を語り合う、座の文芸でもあります。当会は、毎月の句会をはじめ、柳誌(会報)の発行、一般の方々に向けた会紙の展示などを通して広く川柳の発展を期すとともに、昨今薄れがちな人と人との結びつきを大切に活動しています。
【問い合わせ】011-815-0103 小野寺



PR 句会に参加してみませんか。雨時は楽しいひとときです。初心者大歓迎、丁寧に指導いたします。

道路を考える会 (環境の保全を図る活動)

車優先ではなく、歩行者や近隣の人たちが安全に利用できる道路に！！と札幌市に要望している会です。今提案しているのは南19条西7丁目から西16丁目までの道路。車道を片側3車線にする計画を見直し、車道は片側2車線に中央帯(右折車線)を加えた形にし、その歩道道を3.5mから5mに広げて、夏は自転車が行きやすいようにし、冬はそこを雪の堆積場にするという提案をしています。札幌の道路と一緒に考え、変えていきませんか？
【問い合わせ】011-511-8486 原田



PR 車優先の形から、歩行者、交通安全、環境優先の道路に変えてほしいと活動しています。一緒に考えませんか？

北海道水彩画会 (学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動)

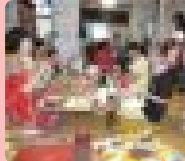
私たちは、水彩の裾野を広げようと1982年にスタート。現代水彩は、油彩に負けないような多様な表現ができます。絵は自由に描いてよく、私たちの公募展では、具象・抽象を問いません。単なる写生画ではなく、個性を生かした作品を期待します。絵をやっていると、花や空をきれいに感じます。この感覚はなかなか他では得られない。感性を生かして、絵を楽しみましょう。新しい仲間、特に若い人を歓迎しています。
【問い合わせ】0133-73-6533 田中



PR 毎年、会友展(2月、時計台ギャラリー)、写生会(6月、一般の方も参加いただけます)を開催。ご興味ある方はぜひご連絡を。

むくどりホーム・ふれあいの会 (子どもの健全育成を図る活動)

障がいのある人もない人も、赤ちゃんとらお年寄りまで、だれもが気軽に立ち寄ることができるような、心の居場所を求める人達の、ふれあいの場所作りをしています。隣接するむくどり公園と一体になって利用できることが、自然な安心感を与えてくれます。障がいのあるなしにかかわらず、両者の間にある見えない壁を取り払って、お互いにその違いを認め合う。そんな出会いを積み重ねて、心のバリアフリーの輪を広げようとしていきます。
【問い合わせ】011-591-7035



PR 会員制でもなく、障割りの結盟もなく、好きなときに来られて、ホームの利用が無料。あっ！また仲間が来た、と思わずうれしくなる不思議なところですよ。

サッポロペンギンクラブ (子どもの健全育成を図る活動)

身体が不自由でも、楽しみながら親子一緒に水遊びや水泳を楽しめたら。ペンギンのように自由に。そんな思いから肢体不自由児のための水泳教室を立ち上げて37年が経ちました。親やボランティアが付き添い、その子に合ったカリキュラムを実施しています。出来なかったことが出来る喜びと自信を子どもたちに。最初は水がかかると嫌だったけれど、今はバフライもへいちゃ。重力のない水中は、誰にも平等です。
【問い合わせ】011-816-5870 広井

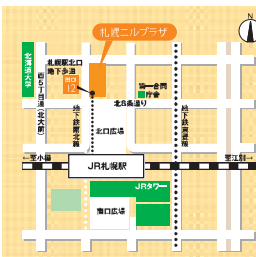


PR 水泳体験教室を平岸プールで土曜日午後12時から実施しています。来たい！ペンギンっ。

編集後記

編集ボランティア・スタッフになってから今回で4回目の取材となりました。今まで取材させていただいた団体みなさんは、それぞれ強い思いと粘り強い行動力を持ち合わせていることを強く感じました。最近の自分には欠けているものばかりだな、と反省。(オオヒラ)

7名がスタッフに加わったのが去年の6月。編集やエンプラまつり参加で信頼感を深めて来ました。その間に米田留子・就崎・結城などさまざまなことがあり、これからも一期一会の思いで楽しんで続けようと思います。(ケイン)



「しみサボ」は市民活動サポートセンターの「しみ」と「サボ」をとって付けた愛称です。

研修や交流に関する事業の実施をはじめ、助成金情報や団体のイベント情報などの案内、印刷機、打ち合わせコーナー、PCコーナーなどがあり、事務所としてご利用いただける事務ブースも設置しています。

http://www.shimin-sl-plaza.jp/



一歩しくはこちら

みんなのしみサボ 編集ボランティア活動風景

「エンプラまつり2013」では、「市民活動団体ミッションPR」を担当しました。

「みんなのしみサボ」は、広報さっぽろにて募集した編集ボランティアと市民活動サポートセンタースタッフが協力して製作しています。

みんなのしみサボ

札幌市市民活動
サポートセンターだより

第
34号
2013.10

市民まちづくり活動登録団体数
市民活動団体 2,225団体
学芸活動団体 24団体
男女共同参画団体 49団体
環境活動団体 55団体
(9月末現在)

札幌市市民活動サポートセンターは NPO やボランティア活動などの市民まちづくり活動を支援する施設です。

～NPOってなあに!?～

「NPOってよく耳にするけれど、よくわからない」「どんな人が、どんな思いで活動しているんだろう？」そんな疑問に応える事業を実施しました！



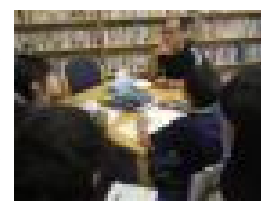
「市民活動はじめて講座」 ～NPOってなんだろう～

実施日：平成25年9月12日(木)



さっぽろ子ども記者 ～NPO活動の取材にチャレンジ～

実施日：平成25年7月27日(土)、28日(日)



▲北海道ブックシェアリング代表の荒井さん

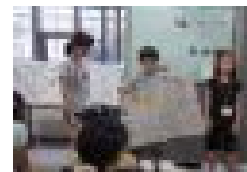


▲NPO法人ゆうらん代表の松本さん(左上)

子どもたちが「NPO」について調べたり、記事を作ったりするなかで、新たな視点を育むことを目的とした事業です。

大学生スタッフのサポートのもと、緊張しながらも取材にチャレンジ！活動のきっかけや目指していること、困っていることなどをインタビューしました。

この時の様子は、現在「学生まちづくりコミュニケーションツール検討委員会」のメンバーがHPコンテンツを作成中！乞うご期待！



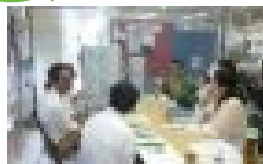
▲発表会の様子

「NPO(市民活動)について知りたい」という素朴な疑問に応える講座です。NPO活動は特別なことではなく、自分たちの生活に密接なんだということを、用語の解説だけでなく、活動事例や当センターの見学ツアーなどをとおしてお伝えしました。この講座がきっかけになり、NPOへの理解が深まって支援の輪が広がるというなあ…と思っています。

詳しくはHP「さっぽろまちづくり総合情報ポータル」札幌 市民活動 をご覧ください！

Check!

これから実施する事業



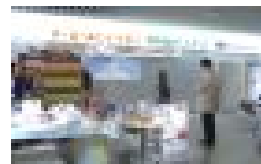
しみサボつながるカフェ(11月20日(木))

「市民活動団体同士、市民と市民活動団体が「自然に」「気軽に」交流して、お互いの活動の理解や新たな仲間づくりをするきっかけの場です。毎回テーマを設定して開催しています。11月は「何でも話そう！私たちの市民活動！」がテーマです。



市民活動はじめて講座(11月19日(火))

NPOについて「知りたい方」「疑問を解決したい方」「スタートしたい方」にオススメです。おひとり、仲間と一緒に、ぜひご参加ください。



チ・カ・ホでイネ！市民活動がイネ！(11月22日(金)～23日(土))

「札幌駅前通地下歩行空間(通称：チ・カ・ホ)」にて、市民活動団体みなさんが、熱い思いや取り組みなどをお話していただきます。多様な市民活動と出会うチャンスです！

みなさまに
ええられて

札幌市市民活動サポートセンターは 開館10周年を迎えました！

札幌市内の市民活動の拠点施設として2003年に開館した札幌市市民活動サポートセンターの様子を、ほんのひと握りですがご紹介いたします！

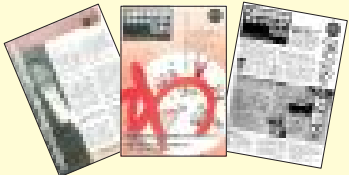
予告！ 『みんなのしみサポ』 10周年記念特別号発行予定！

特別号では、市民活動実践者の座談会やアンケートから見てくる市民活動への想いなどを掲載します！
現在、編集ボランティアスタッフが製作中！
どうぞお楽しみに！



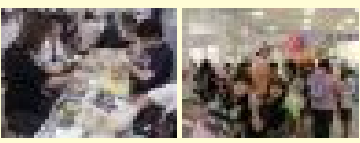
2003年9月1日 開館

オープニングイベントでは、利用団体による体験会や講座、パネル展など多彩な内容で来場した皆さんに取り組みを紹介しました。『札幌市市民活動サポートセンターだより』は開館当初より発行しています。



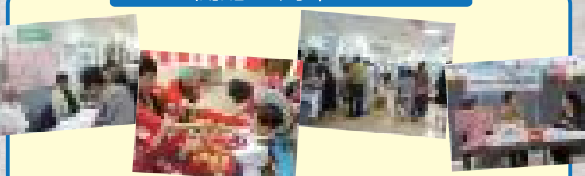
2008 開館5周年(2008)

開館5周年を記念して「エルプラ誕生祭」を開催しました。市民活動団体と来場される方との交流を目的に「活動発表・紹介展」を実施しました。
この年に行われた「市民企画講座」には31団体が参加し、国際交流・子育て支援・コミュニケーションワークショップなどバラエティに富んだプログラムに沢山の方が参加してくださいました。



2011 『市民活動プラザ星園』オープン

2013 開館10周年(2013)



「エルプラまつり2013」には、市民活動団体による出展ブースのほか、「市民活動団体ミッションPR」を行い、団体の熱い思いをUSTREAM(インターネット生放送)で発信しました！
また、「しみさぽえんにち」では、子ども大人もスーパーボールすくいやヨーヨーつりなど“一日だけのお祭り”を楽しみました。
エルプラまつりのほか、札幌駅前通地下歩行空間を会場に、活動を市民に伝えるイベントも開催しています。

札幌市からのお知らせ

★札幌市東日本大震災被災者支援活動基金★

札幌市には、震災により1,500人を超える方が、避難してきており、今なお不安と隣り合わせの生活を余儀なくされております。
札幌市では、被災者支援への財政的援助として、「札幌市東日本大震災被災者支援活動基金」を設置し、寄附を募集しております。
震災直後と比較すると被災者支援に対するご寄附が大幅に減少しており、支援活動の縮小が懸念されています。
皆様の思いの長いご支援をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】
札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民活動促進担当課
TEL 011-211-2964 E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp
URL: http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/

震災支援の現場から

「福島の子どもたちを守りたい！」を合言葉に

東日本大震災・東京電力福島第一原発の過酷な事故によりこれまで放出された放射性物質の総量は、広島原爆168発分と政府は発表しています。当会は、2011年6月11日、福島の子どもたちを放射能のない環境へ、と考えた市民で結成されました。多くの方々のご支援でこれまで、7回の長期休暇に福島の子ども230人の受け入れを行いました。
人間は忘れっぽく、マスコミもセンサーショナルな事件を追いかけてがちです。でも、福島原発事故は現在進行中。当会は、震災を忘れず地道に、福島の子どもの支援を続けていきたいと考えています。



▲夏の保養プログラムで元気いっぱい遊ぶ子どもたち

【問い合わせ】
NPO法人 福島の子どもを守る会・北海道
〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階
札幌市市民活動サポートセンター内 事務ブース№2 TEL:090-6990-5447 FAX:011-852-5006

しみサポ掲示板

編集ボランティアスタッフによるネット配信番組「しみサポぶらす」が始動！

この新しい取り組みは、インターネット配信による生放送番組で、「札幌の市民活動をよりタイムリーにより多くの情報で紹介したい！」という編集ボランティアスタッフの思いからスタートしたものです。現在、不定期発信中ですが、今後、定期的な放送を目指していますので、どうぞご期待ください。(詳細は、市民活動サポートセンターまでお問い合わせください。)



市民活動ズームイン

編集ボランティアが気になる取り組みを紹介するコーナーです！

今回、ご紹介するのは・・・

NPO法人 北海道海濱美化を進める会

平成25年6月30日に行われた「洞爺湖町虹田海岸の浜美化フォーラム」に参加してきました。その様子をお伝えします！

「NPO法人 北海道海濱美化を進める会」って？



会長の水嶋呈さん

【問い合わせ】
NPO法人 北海道海濱美化を進める会 事務局
住所:札幌市西区山の手2条10丁目3-20-13
TEL/FAX:011-642-2389 メール:info@hamabika.org

- 1 北海道の海を日本一美しくしよう。
- 2 豊かな感性と思いやりの心を育てよう。
- 3 触れ合いの場を広げ、家族の絆を深めよう。
- 4 奉仕の心で実践し、社会の平和に貢献しよう。

この4点を目的として海濱美化活動を行っています



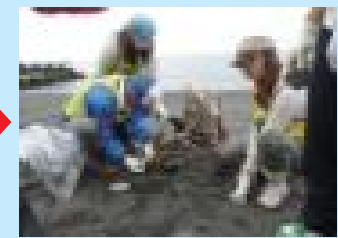
▲みなさんも浜美化活動に参加して、北海道の海岸を日本一キレイにしませんか？



▲バス3台に分乗して洞爺湖町虹田海岸にやってきました。



▲小学生から80歳までの90人ほどが参加。1時間ほどかけて清掃を行いました。

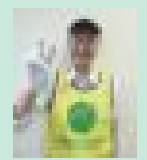


▲海岸に打ち寄せられたビニール袋や空き缶などを拾います！



▲なんと、可燃ゴミ:300kg、不燃ゴミ:100kgを回収しました。

広い砂浜のゴミ拾い、浜辺がそんなにきれいになるかな～・・・？最初は半信半疑。何だかずいぶんゴミ袋が膨らんできた。終わって浜辺を見渡して、びっくり！！まさか、こんなにきれいになるなんて。うれしいな。これからも毎年参加しようと思えました。



今回取材した編集ボランティアの 大平さん

相談員のつばやき 「相談」ということ

市民活動相談の窓口に座るようになって4年目。もともと相談員という業務に特別な関心があったわけでも得意だったわけでもありませんが、最近は今更ながらこの「相談」という行為は意外と重要なのではと思うようになりました。市民活動に限らず、私たちは何が新しいことをしようとするときや困難にぶつかって立ち往生しているとき、誰かに相談をします。家族や友人だったり、専門家だったり様々だと思いますが、相談できる相手がいることと自分が物事を前に進めるきっかけになることも多いのではないのでしょうか。

相談員として座っている以上、どんな些細なことに耳を傾けたいと思っていますので、お気軽に声をかけてみてください。(相談員:小泉雅弘)



皆さんのお力になります!!

市民活動に関する疑問・質問は「市民活動相談」へ！活動経験豊富な「きつぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが相談をお受けします。

- 相談日:火曜日～金曜日(祝日休)
- 相談時間:15:00～18:30
- 相談方法:札幌市市民活動サポートセンターの窓口で直接相談できる他、Eメール又は電話での相談もお受けしています。

相談員不在時もお受けしておりますのでお気軽にご相談ください。